

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS

し ら た か

広報

5.13
MAY2005
NO.920

平成16年度

「協働のまちづくり推進助成事業」の成果②

5月30日は、「白鷹ごみゼロの日」です。④

新しい地区公民館職員の紹介⑨

消防署白鷹分署からのお知らせ⑬



釜の越桜ライトアップ

今年も「古典桜の里しらたか」には全国から7万人近い観光客が訪れました。今年のライトアップは、樹への影響を考え、昨年よりも30分短い8時半までとされ、桜を見るだけではなく、後世へ保存していこうという意識も高まっています。4月23日には、夜桜の下で恒例の高玉芝居が上演され、大勢の観光客、地元のかたがたを楽しませました。

みなさんが主体となって実施する事業を応援します

平成16年度「協働のまちづくり推進助成事業」の成果

「協働のまちづくり推進助成事業」は、町内会やサークルなどの自主的な団体が、自分たちの手でまちづくり事業などを行う場合、その経費の一部を助成する事業です。

平成16年度は、地域づくりに関する事業やイベント・交流拡大事業など、地域のかたがたが主体となって、3件の事業に取り組みました。

○イベント・交流拡大事業

しらかの音楽映画塾

申請団体 しらかの音楽映画塾実行委員会

代表者 実行委員長 原田利明

認定事業費 2,267,198円

助成金 500,000円

平成15年10月開催の国民文化祭白鷹町開催事業「地芝居の祭典」で共演された音楽家・小室等さんと当町畔藤出身で映画・演劇制作者の小形雄二さんの呼びかけをきっかけに実施された音楽と映画のイベント・交流拡大事業です。アジア国際音楽祭でおなじみの近藤房之助さんや伝説のフォークシンガー・高田渡さん(高田さんは先月急逝されました。ご冥福をお祈りします。)、特別講師では映画監督の大林直彦さんなども出演し、音楽と映画の文化体験、白鷹の農業・伝統文化体験、さらに町外来訪者との交流体験など、参加者にとって有意義な経験となりました。なお、平成17年度は町の事業として予算化し、実施する予定です。



○地域づくり事業

地域文化景観保存事業（瑞龍院庭園土砂災害復旧工事）

申請団体 桜の里づくり推進委員会

代表者 会長 菅 正男

認定事業費 683,550円

助成金 273,000円

蚕桑地区では、地域づくりを進めるため桜の里づくり推進委員会を組織し、「桜の里事業計画」のもと、活発な地域づくりを実施しています。中でも、先人たちの残した文化遺産は蚕桑地区の象徴ともいえ、地域が一丸となってその保存活動などに取り組んでいます。このたびの事業は、平成16年7月17日の記録的豪雨により土砂災害を受けた瑞龍院庭園の復旧を目的に実施された事業です。瑞龍院庭園は被災前の美しく落ち着いたたたずまいを取り戻し、来訪者の増加や地域住民の愛着心の向上などが期待できます。



町下交流拠点施設機能強化事業

申請団体 町下区

代表者 区長 松本幸治

認定事業費 1,312,500円

助成金 500,000円

町下区は、「土里夢館」を拠点に、生産組織の構築と消費者と交流できる地域を指した集落営農推進事業や畑地、水田などのほ場整備とともに地域振興を目指した経営構造対策事業を展開してきました。また、平成16年度には「白鷹町産地形成促進施設整備事業」により、どりいむ農園直売所が整備されました。このことにより、土里夢館が研修や交流などの拠点として、より充実した機能が求められるようになりました。備品などの保管とスペースの有効活用のため、格納施設の新設と機能強化を目的に実施された事業です。4月9日オープン直売所は連日大盛況で運営されており、今後、土里夢館の活用もますます増えることが予想され、地域振興のみならず町全体への波及も期待できます。



平成17年度助成希望団体を募集します。

―白鷹町協働のまちづくり推進事業―

白鷹町協働のまちづくり推進事業は、昭和63年度に白鷹町まちづくり総合助成事業として設立されて以来、これまで延べ98団体に総額約6千1百万円の助成を行ってきました。実施団体の負担を合わせるとこの17年間に2億3百58万円の事業が町内で行われ、各地区の地域づくりやひいては白鷹のまちづくりにつながっています。

18年目となる今年度は、町の予算額225万円を計上しています。なお、今年度より、これまで教育委員会が実施していた「白鷹町生涯学習推進助成事業」を本事業に統合し実施します。また、まちづくり団体の構成員が協力して作業を行い、原材料費の支給により整備が完了すると認められる事業や地域計画づくりを行う事業は昨年どおり継続します。

助成を希望されるまちづくり団体の皆さんは、次の募集要領により、申請してください。なお、助成対象団体の選

考は(第1回受付分から)先着順で行いますので、計画的な事業の実施をお願いするとともに、不明な点、わかりにくい点などがありましたら個別にご相談くださるよう、よろしく願います。

○助成の対象となる事業

①地域づくり事業

コミュニティ施設等の整備、地域特性を活かした施設等の整備、地域の景観形成、研修会の開催、調査研究など

②歴史・文化事業

歴史文化の保存伝承、郷土史発刊、郷土料理の伝承・活用、新たな芸術文化活動など

③イベント・交流拡大事業

大会、祭り、シンポジウム、都市交流など

④新分野チャレンジ事業

NPO・ボランティア団体の立ち上げ、コミュニティビジネスの立ち上げ、特産物の開発など

⑤生涯学習推進事業(統合)

講演会、講習会などの開催や芸術文化活動など

⑥地域づくり計画策定事業

地域の現状と課題把握、地域発展のテーマづくり、具現化に向けた具体的事項事業実施に向けた方策検討など

⑦まちづくり団体直営事業

公園などの施設等で、まちづくり団体の構成員が協力して作業等を行うもので、原材料費の支給により整備が完了すると認められるものなど

○手続きの方法

①申請

事業の助成希望団体は、まず「協議書」を町長に提出していただきます。また事業の計画性を高めるため、協議書の受付は次の3回とさせていただきます。

- ・第1回…6月13日(月)まで
 - ・第2回…9月12日(月)まで
 - ・第3回…12月12日(月)まで
- ※いずれも役場窓口延長日(午後7時まで)です。

②助成額

助成の対象となる事業の(1)～(4)は20万円以上の事業費でその40%以内の額。ただし、助成限度額は50万円とします。

(5)は10万円以上の事業費でその40%以内の額。助成限度

額は50万円です。

(6)は20万円以上の事業費でその80%以内の額。助成限度額は50万円です。

(7)は原材料費の80%以内の額で、助成限度額を10万円とします。

③助成金の交付決定

助成金については、提出いただいた協議書をもとに役場内の関係課長からなる選定委員

員会において選定し、最終的には町長が決定します。

○詳しくは…

政策改革課政策企画係(☎8516123、担当…湯澤、大木)までお問い合わせください。

みなさんの生涯学習活動を支援します!

―生涯学習推進基金貸付制度―

白鷹町では、町民の皆さんの積極的な生涯学習活動を支援するため、生涯学習推進基金を活用し、費用を無利子で貸付しています。

これは、国内学習、海外学習、文化研究にかかわる出版に要する経費が対象となりますので、ぜひご利用ください。

(1)貸付の対象

①町内在住のかた
☆この貸付制度を利用し、まだその返済が済んでいないかたは、新たに借り受けることはできません。

(2)貸付額

①国内学習 20万円以内

- ②海外学習 50万円以内
- ③文化研究に係る出版に要する経費 100万円以内

(3)貸付期間及び返済
貸付期間は3年とし、返済は年賦均等返済。期間の短縮については協議によって定め

ます。
詳しくは、教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎8516147)までお問合せください。

5月30日は、

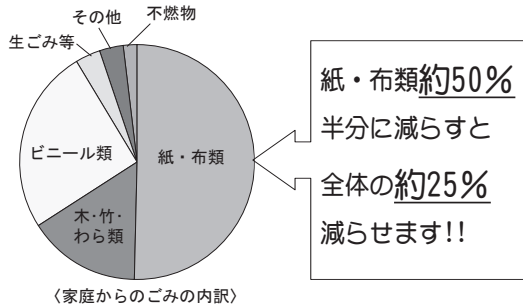
「白鷹ごみゼロの日」です。

—美しいらたかを未来の子どもたちへ—

白鷹町では人口の減少に反比例し、ごみの量は年々増えています。今年より5月30日を「白鷹ごみゼロの日」として、みんなでごみの減量化に一層取り組んでいきましょう。
白鷹ごみゼロの日実行委員会(※)からの4つの提案です。

①紙ごみを減らそう！

家庭から出るごみの約50%は紙・布類です。まだまだ資源として出せる紙はたくさんあるはずです。
レシート、紙くずをこまめに、古紙再生に出しましょう！



②分別を徹底しよう！

ごみの中身を知り、分別を徹底しましょう。分別が不安になったら、すぐに「分別110番」町民税務課くらし・環境推進係

(☎85-6131) にお電話ください。

まぜればごみ
分ければ資源

③買い物袋 (マイバッグ) を使おう！

買い物に行くには買い物袋 (マイバッグ) を持って行きましょう。何の袋でもいいです。家庭に入るごみを減らしましょう。

④生ごみを土にかえそう！

昔ながらの「こえづか」, そしてコンポスト容器を見直しましょう。「ぼかし」などを使って家庭から出る生ごみを堆肥化し、「ごみ」ではなく「肥料」として再利用しましょう。



白鷹ごみゼロの日実行委員会では、

店頭啓発活動を行います！

▼日時 5月29日(日) 午後2時より
▼スピカ前・Aコープ前
「ぼかし」「ざつ紙ふくろ」を無料を配布し、「ごみの分別・減量化の展示を行います。お集まりください。

(※) 広報しらたか4月号で募集しました、町民によるボランティア集団です。

5月は不法投棄パトロール月間

ごみをみだりに捨てる処罰されます。大規模な不法投棄は減っていますが、路上への「ポイ捨て」が多くなっています。「ポイ捨て」も立派な犯罪です。白鷹町には年間約6トンものごみが捨てられ、地域・ボランティアの協力を得て回収を行っています。モラルの輪を広げ不法投棄を撲滅しましょう。

○不法投棄110番電話

☎0238-2616034

(置賜総合支庁環境課内)

○白鷹町不法投棄窓口番号

☎85-6131

(町民税務課くらし・環境推進係)

ごみ減新聞

季刊
創刊5月号

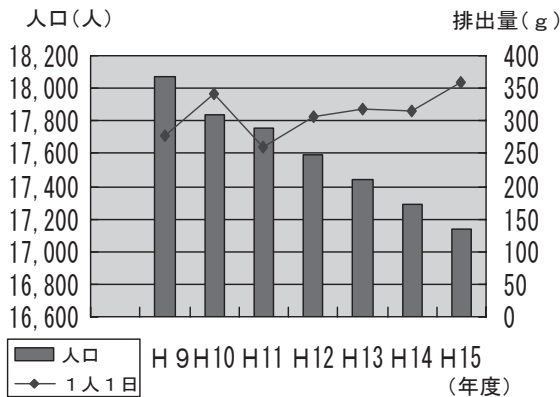
▼ごみ減新聞発刊
白鷹町廃棄物減量等推進員協議会で、定期的に「ごみ減新聞」を発刊し、ごみの減量化を呼び掛けていきます。

いったいごみはどれだけ出ているのでしょうか？

ごみの出ている量を知る

まず、グラフでごみの排出量を見てみましょう。

人口と生活系ごみの1人1日排出量



○白鷹町のごみは、人口の減少に反比例し、どんどん増えています。
◎このごみのために、年間約1億4千万の税金が使われています(し尿処理も含む)。これはごみ1kgあたり約70円の計算になります。

できることがらはじめっぺ！

「ごみ家計簿」「環境にやさしい家計簿」をつけてみよう。

本日配布した「ごみ家計簿」「環境にやさしい家計簿」(水色のシート)をつけてみよう。

つけることで、日々の生活を見直し、ごみの減量化に取り組み、環境意識を持ちましょう。

また、家計にもおトクです。

○ごみ袋1枚節約すると約2キロのごみが減り、40円の節約になります！

○電気使用量を1時間1キロワット減らすと、約22円の節約になります！

○ガス使用量を1m減らすと、約800円の節約になります。

○水道使用量を1m減らすと、水道料金を約190円、下水道料金を約170円節約できます。

トクするために
2005年つけてみて、
2006年はなんぼ
減ったかな？



「ごみの減量化のために」

■「ごみ袋のシートのつけ方

それぞれのゴミを週に何袋で何枚分出しているかをチェックします。

☆減量するには…

右のページの「白鷹ごみゼロの日実行委員会」からの4つの提案を実践しよう。

温暖化防止のために

■環境シートのつけ方

電気、ガス、水道の「ご使用量のお知らせ」をもとに記録します。

☆家庭でいちばん電気を消費しているものは…

エアコン・冷蔵庫・照明・テレビは家電製品の中でも四天王と言われています。

消費電力の多いものを上手に省エネすると効果があります。

☆節約するには…

①エアコン…夏は28℃、冬は20℃を目安に温度を設定するなど

②冷蔵庫…詰め込みをなくす、ドアを無駄なく開閉するなど

③照明器具…蛍光灯を選ぶ、点灯時間を短くするなど

④テレビ…主電源を切る、見ないときは消すなど

■問い合わせ

白鷹町廃棄物減量等推進員協議会事務局
町民課くらし・環境推進係 (☎85-6131)

地域の皆さんの盛り上がりで開花へ一歩前進 第2回鮎貝さくら祭り



4月17日、鮎貝さくら祭りが開かれました。鮎貝土地区画整理事業に伴い、地域活性化を目的に発足した「鮎貝まちづくり推進委員会」が中心となった事業で、今年で2回目。スポーツ公園では、食文化グループなどの郷土食の提供、荒砥高校吹奏楽部や町内外の皆さんの演奏などが行われました。また、整備の進んだ白鷹ニュータウン四季の郷では、はたらく車試乗会、抽選会などが催され、家族連れでにぎわいました。

桜でいっぱいのお置賜をつくりたい 「花回廊ようざんロード」の植樹式



4月17日、ヤナ公園において「花回廊ようざんロード」をつくる会（会長 高橋俊龍さん）の桜苗木の植樹式が行われました。本会は首都圏在住の置賜出身者を中心に組織され、桜を植えることで美しい景観をつくり、ふるさととの交流を深める目的で5年ほど前から活動され、今年は白鷹町が植樹計画地域となっています。式では、会員の皆さんの手によりエドヒガンザクラなどの苗木が10本植えられました。

地域を災害から守る新たな仲間 消防団の幹部・新入団員訓練



4月10日、東陽ホール及び東陽の里グラウンドにおいて、白鷹町消防団幹部・新入団員訓練が行われました。辞令交付式、各種講習会のあと、グラウンドでは各個訓練などが行われました。新入団員にとっては初めての訓練でもあり、緊張した面持ちで行進などをされていました。今年、白鷹町消防団には新たに43人が入団。予防消防は地域住民が主役ですが、そのリーダー役としての活躍が期待されます。

24チームの白熱した好ゲーム 第14回ソフトボールフェスティバル



5月3日から5日かけて、白鷹町ソフトボール場を主会場に、「第14回ソフトボールフェスティバル」が行われました。べにばな国体開催を記念して毎年開催されており、今年は茨城県、埼玉県、東北各地より24チームが参加。開会式では、長井高校の大河原真波さんが選手宣誓を行い、3日間の大会がスタートしました。結果は、春日部女子高校（埼玉県）が激戦を制し、優勝を果たしました。

平成17年度白鷹町スポーツ少年団合同結団式

4月9日、中央公民館大ホールにおいて、「平成17年度白鷹町スポーツ少年団合同結団式」が行われ、今年度の活動がスタートしました。結団式では、604人25団の代表者に芳賀繁男本部長より団旗が手渡され、団員を代表してジュニアバドミントンスクールスポーツ少年団の平彩花さんが活動に向けての誓いのことを述べました。

また、指導者を代表して中山スキースポーツ少年団の大滝義昭さんに教育長より委嘱書が交付されました。今後1年間の活躍を期待します。



お世話になりました。 フラワーロードパーク里親活動

平成16年度は下記の7つの団体の皆さんに、ごみ収集、除草、樹木の管理などを行っていただきました。1年を通してフラワーロードパーク内をきれいにしていただき、ありがとうございました。

町下花街道奉仕会・路傍花の会・衣袋建設ほか五風会・高橋組・菅原組・町職員クラブ・東陽ロード小山沢



平成17年度フラワーロードパークの里親 (ボランティア)を募集します

ボランティアを行っていただける個人、団体、企業及び従業員団体などのかたを募集します。児童・生徒が活動の主体になる場合は、責任者を付けていただきます。

- ▼主な仕事 フラワーロードパーク区域内のごみ収集、除草、樹木の管理など
- ▼活動回数 年間3回以上をお願いします。
- ▼申込方法 参加申込書(建設水道課にあります)に必要な事項を書いて提出してください。
- ▼募集締切 5月20日(金)
- 申込・問い合わせ 建設水道課(☎85-6142)

栃尾市から町へ感謝状を
いただきました



昨年、姉妹都市の栃尾市が、7月に豪雨水害、10月に新潟県中越地震大震災に見舞われました。それに際し、町民の皆さんからの救援物資や義援金を送り、人的支援を行いました。

これに対し、このたび栃尾市長が来町され、感謝状をいただきました。

諏訪堰土地改良区が全国
土地改良功労者表彰金章
受賞



平成16年度に、町へたくさんの寄付をいただきました

ものがたりひろまつた

●(株)フューメック様(長井市)
●山形おきたま農業協同組合様、全国共済農協連合会山形県本部様(山形市)

▼打織機(伝統ある深山和紙を後世に伝えるために)
▼カーブミラー4基(交通安全と事故防止のため)

●梅津誠様(荒砥)
●ホークス会様

▼大型テレビ1台(荒砥駅前交流施設等で利用)
▼現金10万円(こぶしの家事業へ)

●国際ソロプチミスト長井様(長井市)
●町下区様

▼現金10万円(図書購入代として)
▼土地 田 4・47㎡大字

●白鷹ライオンズクラブ様
▼現金10万円(図書購入代として)
▼現金10万円(こぶしの家事業へ)

●梅津伸一様(東京都)
●どりいむ農園直売所

▼故梅津五郎画伯洋画作品17点
▼現金1100万円

諏訪堰土地改良区(理事長・高橋恭平さん)は、昭和26年の設立以来、水稲の生産性を上げ、米の収量を増やすため、農地の集団化や農業の安定化の事業を行われてきました。現在は「県営畔藤地区経営体育成基盤整備事業(平成17年度完成予定)」を実施し、また施設の維持管理、用水の

適正配分のため組合員が一体となつて経営の合理化を進められています。

その功績により、このたび土地改良功労団体として全国土地改良功労者表彰の団体部門金章を受賞されました。

白鷹版 元気塾 〈高齢者編〉

すてきに年をかさねて、いくつになっても、自分がやりたいことができる暮らしは、高齢者の健康な暮らしです。そんな、健康な暮らしをしていても、ちょっと疲れることがあります。

そんな時はがんばり過ぎず、介護予防のため、ボランティアや介護・福祉サービスを活用しましょう。上手な活用は生活の自立度を上げます。

「退院後の生活はどうしたらいいだろう。」「一人暮らしなのに、脚が痛くて買物に行けなくなった。」など、日常生活に困ったときは、地区の民生委員や健康福祉

センター（☎86-0112）へご相談ください。

町内には、介護保険サービス（デイサービス、ショートステイ、ホームヘルパーなど）のほかに、地域の「ふれあいサロン」や宅老所「ちょぼらの家」などがあります。お気軽にご利用ください。



▲「ちょぼらの家」のホッとな風景

元気ニコニコ しらたか21

「元気ニコニコ推進会議」 掲示板

健康な暮らしのために、自然の中でウォーキングを楽しみましょう！

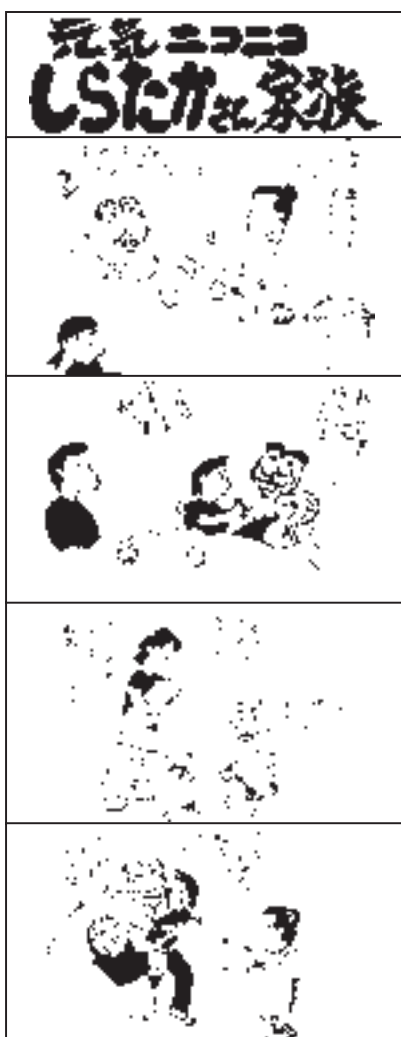
《最上川ウキウキ遠足》

日時：6月4日（土）

午前10時～

場所：健康福祉センター

※日程について詳しくは、健康福祉課健康推進係（☎86-0210）まで、お問い合わせください。

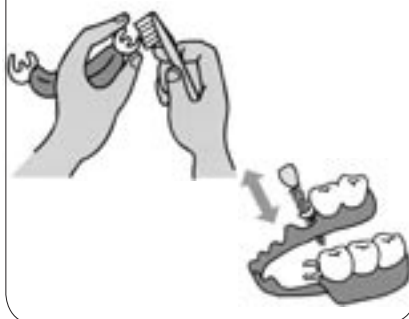


元気ニコニコなるほど情報局

.....〈入れ歯の手入れ〉.....

『8020』運動をご存知ですか？80歳で20本以上自分の歯を残そうという全国的な取り組みのことです。“おいしく食べること”は健康で充実した生活を過ごすための基本ではないでしょうか？1本でも多く自分の歯を残せるように、正しい口腔ケアを身につけましょう。

部分入れ歯



総入れ歯



- 食べた後は入れ歯をはずし、残っている歯と入れ歯をハブラシで丁寧に磨きましょう（洗剤だけでは汚れは取れません）。
- 寝る時は、歯ぐきを休める為に、入れ歯は必ずはずしましょう。
- 定期的にかかりつけの歯医者さんで診てもらいましょう。

おいしく食べて元気ニコニコな暮らしを目指しましょう！



こんにちは

新しい公民館職員です

今年度から各地区公民館は、地域の主体的な運営を目指して、公募・選考による館長代理と主事が勤務し、地区公民館長を中心に3人体制で公民館活動を進めています。地域づくりのよりどころとして、生涯学習活動の拠点として、地域のかたとともに活動ががんばっていきますので、よろしくお願ひします。どうぞ気軽に声をかけてください。

*各地区公民館の開館時間が4月から「毎日午前9時から」に変更になりました。よろしくお願ひします。

鮎貝地区公民館



主事 鈴木晴美

笑顔と明るさをモットーにがんばっています。



館長代理 豆腐谷憲始

明るく笑顔があり、地域の皆さんに愛される公民館を目指してがんばります。

蚕桑地区公民館



主事 金田美加

皆さんのお力をお借りしながら、がんばっていききたいと思います。



館長代理 福嶋亮一

地域の人と人の輪を大切に、伝統ある蚕桑地区公民館を継承していきたい。

十王地区公民館



主事 衣袋祐子

地域づくりの拠点として、皆さんに親しまれる公民館となるようがんばります。



館長代理 梅津光弘

地域の人たちとのつながりの中で、公民館運営に努めます。

荒砥地区公民館



主事 奥山鳩子

一から勉強するつもりでがんばりますので、よろしくお願ひします。



館長代理 工藤裕子

頼もしい父のような館長と、愛娘のような主事と一緒にがんばります。

東根地区公民館



主事 丸川美紀

事業をとおり、皆さんと触れ合えることを楽しみにしています。



館長代理 向田忠博

だれもが気軽に寄って、明るく雰囲気の良い公民館づくりを目指します。

鷹山地区公民館



主事 竹田美佐子

地域のかたの声、思いがあふれている公民館づくりに励みます。



館長代理 紺野真一

元気に、明るく、だれでも気軽に立ち寄れる公民館づくりを目指します。

INFORMATION

情報

あらかると

役場は ☎85-2111



三ッ瀧不動尊大祭のご案内

眼病平癒、火盗消除、養蚕安全、交通安全の守護「三ッ瀧不動尊」の大祭が行われます。皆さんご参拝ください。

▼いつ 5月22日(日)

▼午前10時30分

▼どこで 三ッ瀧不動尊境内

(雨天の場合 貝生公民館)

▼直会 貝生公民館 午後2時30分

▼会費 1000円

▼御札 一体500円

▼名物 「流しソーメン」と山菜 お1人様600円 昼12時まで

▼交通 マイクロバス 役場前午前9時45分発

■問い合わせ 白鷹町観光協会 (☎86-0086)

赤坂憲雄教授が「山野河海まんだら」を語る

東北芸術工科大学に着任以来、「東北学」を掲げ、「いくつもの日本」論を展開する赤坂教授から、東北・置賜の民俗を中心に語っていただきます。

▼日時 5月22日(日) 午後2時

▼場所 のどか村

▼参加費 1000円(懇親会を含む場合は4500円)

■問い合わせ 柳田国男を讀む会・江口儀雄 (☎85-2700)

憲法学習のつづき②

白鷹九条の会では、憲法への理解を深め、平和について考えるための学習会を隔月間で開催します。今回はその2回目です。ぜひ、ご参加ください。

▼日時 5月27日(金) 午後7時

▼場所 荒砥地区公民館

▼内容 戦争体験を語る・荒川幸一氏

▼討論 いま、なぜ改憲か?

■問い合わせ 白鷹九条の会・足田美津子 (☎85-5675)



白鷹山ゆっくりウォーキングのお誘い

風薫る5月、新緑の中をゆっくりと白鷹山に登ってみませんか。友達や家族を誘ってお気軽にご参加ください。

▼いつ 5月29日(日) 小雨決行

▼対象 小さいお子さんからどなたでも、約4時間の散策が可能なた、町外のかたも大歓迎です。

▼持ち物 昼食・おやつ・飲み物・タオル・雨具・セーター類・ごみ拾い用のビニール袋・軍手など

▼服装 ゆとりある運動着・防寒具・運動靴

▼参加費 無料

▼申し込みめきり 5月20日

(金)

▼行程

8時30分 白鷹スキー場集合

8時45分 出発・山の先生に

お話を聞きながらゆっくり登ります

11時 雨量レダー到着

11時30分 山頂到着・白鷹虚空蔵様参拝・昼食

1時30分 下山・ごみを拾いながらゆっくり下ります

3時 白鷹スキー場到着・閉会式・解散

*雨天中止の場合は、当日の朝、電話でご連絡します。

■申込・問い合わせ 健康福祉課健康推進係 (☎86-0210)

移動町長室を開催します

皆さんとまちづくりについて気軽にお話しさせていただきます。ご希望の団体または地域のかたは、総務課までご連絡ください。

▼開催回数 17年度中、7回

▼期日・場所 希望される団体のかたと調整させていただきます。

▼申込期日 随時受け付けます。

■申込・問い合わせ 総務課情報企画係 (☎85-6121)

防衛庁(自衛隊幹部候補生・2等陸海空士)自衛官募集

▼応募資格

(1)自衛隊幹部候補生(一般・技術)

①20歳以上28歳未満の男女

②平成18年3月及び4月に学校へ入隊できるかた

③試験科目 筆記試験・小論文・口述試験及び身体検査

④試験日 1次試験 5月21日(土)・22日(日)

(2)2等陸海空士

①18歳以上27歳未満の男

②7月・10月に陸・海・空の部隊へ入隊できるかた

③試験科目 口述試験及び身体検査

④試験日 5月28日(土)

■申込・問い合わせ 自衛隊米沢募集事務所 (☎0238-231001)



白鷹町の行政相談委員に奥山正雄さんが再任



友だち

せんせい「きれいだね、桜の花」
Aさん「ほんとだ まんさいだ まんさいだ」
Bさん「お花の友だちいっぱいだね」

風とブランコ

Cくん「せんせい、ブランコ押して」
せんせい「ゆりさんになったんだもん 一人でこいでみて」
Cくん「空みてだよね」(とつぶやきながらこぎだした)
せんせい「すごいね一人で乗れたね」
Cくん「うん 風が押してけっちゃんだよ」

白鷹町子育て総合相談窓口を設置しました

▼奥山正雄さん(荒砥甲1068-17 ☎85-13841)
■行政相談委員に関する問い合わせ 総務省山形行政評価事務所(☎023-632-3113)

児童福祉法の一部改正に伴い、平成17年4月1日より子育て総合相談窓口を児童係に設置しました。児童虐待やその疑いのある情報などについてもお寄せください。実施については次のとおりです。
▼相談窓口 健康福祉課児童係(☎86-0212)
▼受付時間 午前8時30分～午後5時(月曜日は午後7時)
▼相談対象児童 0歳から18歳までの児童
▼内容 子育てに関する相談

白鷹町蚕桑紬パーク屋内運動場の休館日について

▼各月の休館日
○5月・16日(月)、23日(月)、30日(月)
○6月・6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)
○7月・4日(月)、11日(月)、19日(火)、25日(月)

▼使用申込受付 白鷹町中央公民館(午前8時30分～午後10時、毎月第3日曜日除く、年末年始閉庁期間を除く)
☎0238-8516143
※使用取消の場合は、必ず白鷹町中央公民館へご連絡をお願いします。

善意の毛布をアフリカへ

自然災害や紛争で不自由な生活を強いられている被災民、着の身着のまま海外へ避難せざるを得ない難民に「いのちの支え」となる毛布を送ってください。現地の人びとの手が届くまでの海外輸送費900円のご協力も併せてお願いします。
▼受付期間 5月31日(火)まで

キャンペーン

▼日時 5月28日(土) 午前10時～正午

▼場所 荒砥地区公民館
■問い合わせ 『アフリカへ毛布を送る運動』置賜地区実行委員会 渡部(☎0238-13712487)

つが虫病に気をつけましょう!

これから初夏にかけて、田畑、山林、河川敷の藪、草むらなどつが虫の生育域に立ち入る機会が多くなります。

▼つが虫の症状
つが虫の幼虫に刺されると、5～14日後に、発熱、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛、関節痛、下痢、吐き気、ほぼ全身にわたっての発疹が現れます。手当てが遅れないように注意が必要です。

▼つが虫予防・早期治療
(1) 田畑、山林、河川敷の藪、草原などに立ち入る時の注意

①長袖、長ズボン、長靴、手袋等を着用し、素肌をできるだけ出さない。
②草むらに直接座らない。
③虫除けスプレーなどのダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。

④帰宅したら早めに入浴し、清潔を保ち、衣服の洗濯を行う。

(2) 悪寒、発熱、発疹などの症状があった場合は、直ちに医療機関に相談しましょう
①風邪に似た症状のため、症状だけではつが虫病と診断困難な場合も考えられます。そこで「最近、田畑、山林、草むらなどつが虫が生息しているような場所に立ち入ったこと」を医師に話すようにしましょう。

■問い合わせ 健康福祉課健康推進係(☎86-0210)

おわびと訂正

●広報しらたかおしらせ版4月22日号2ページ「おしらせ」でお知らせした、まあ・どんなレストランの予約・問い合わせ電話番号は、「まあ・どんなレストラン」☎87-2456、「代表 佐藤洋子」☎87-2018」でした。

●同号3ページ「図書館だより」で「紙しばいと読み聞かせお楽しみ会」の題名「丈六地蔵」は、「黒滝物語」の誤りでした。

おわびして訂正いたします。

5・6月のパソコン講習会

期日	時間	コース名	内容	受講料
5月23日(月), 24日(火)	午後1時～4時	パソコン入門 (文字入力編)	パソコン初心者の方向け。まずは文字を入力できるように練習しましょう。	¥3,000
5月26日(木)	午後1時～4時	パソコン入門 (インターネット編)	世界中の色々なホームページを閲覧できるように勉強をします。	¥1,500
5月27日(金)	午後1時～4時	パソコン入門 (電子メール編)	電子メールで文面や情報をやり取りできるように勉強をします。	¥1,500
5月30日(月), 31日(火)	午後1時～4時	ワード初級	文書作成の基本を勉強します。やさしい案内文を作ってみましょう。	¥3,000
6月1日(水), 2日(木)	午後1時～4時	エクセル初級	エクセルの基本操作と表作成を勉強しましょう。	¥3,000
6月3日(金), 4日(土)	午後1時～4時	ワード中級	表作成や図を挿入して凝った文章をつくってみましょう。	¥3,000
6月6日(月), 7日(火)	午後1時～4時	エクセル中級	グラフ作成や、関数などを中心に勉強をします。	¥3,000
6月21日(火), 22日(水), 23日(木)	午後7時～9時	パソコン入門 (文字入力編)	パソコン初心者の方向け。まずは文字を入力できるように練習しましょう。	¥3,000
6月27日(月), 28日(火)	午後7時～ 8時30分	パソコン入門 (インターネット編)	世界中の色々なホームページを閲覧できるように勉強をします。	¥1,500
6月29日(水), 30日(木)	午後7時～ 8時30分	パソコン入門 (電子メール編)	電子メールで文面や情報をやり取りできるように勉強をします。	¥1,500

▼定員 各コース20人

▼テキスト代 実費(テキスト代は各コース1500円前後)

※途中で退席された場合でも受講料、テキスト代は返金できませんのでご了承ください。

▼会場 白鷹町総合情報センター(パワーセンター白鷹隣)

■申込・問い合わせ 白鷹町総合情報センター(☎86-0151)

白鷹町総合情報センターでは、5月28日(土)午後1時から4時まで、通常使用料1時間525円のマルチメディア教室を無料開放します。インターネットも無料でお使いいただけます。台数は20台ございますので、この機会にぜひご利用ください。

選挙のしくみと講座

今月のテーマ 「選挙違反とその罰則」

選挙違反を犯した場合、犯罪として裁かれるだけでなく、連座制によるペナルティが科されることもあります。選挙運動に関わる者はもちろん、投票する有権者もなにごとに違反に当たるとなれば、知らず知らずのうちに選挙違反に巻き込まれてしまう可能性があります。

●選挙違反の主なケース

◆買収罪
金銭、物品、供応接待などによる票の獲得や誘導。金銭などを実際に渡さず、約束するだけでも違反となります。また買収に依りたり促したりした場合も処罰されます。品物を受け取った有権者も罰を受けることがあります。

◆利害誘導罪

特定のあるいは限られた範囲の有権者や選挙運動者に対し、その者またはその者と関係のある団体(寺社、会社、学校、組合、市町村等)に対する寄付などの特殊の直接利害関係をを利用して投票を誘導した場合に成立します。また、利害誘導に依りたり促した場

合も処罰されます。

◆選挙妨害罪

有権者や候補者などへの暴行や脅迫、集会や演説の妨害候補者の職業や経歴などに関する虚偽事項の公表、偽名による通信なども処罰されます。

◆投票に関する罪

詐欺の方法で選挙人名簿に登録させること、投票所での本人確認の際に虚偽の宣言をすること、有権者でないのに投票すること、投票を偽造または増減すること、投票所または開票所などで正当な理由なく投票に干渉したり投票内容を知らずとすることなども処罰されます。

◆その他

選挙にはたくさんルールがありますが、その多くに罰則が付いていて、違反すると処罰されることとなります。◎明るく正しい選挙が行われるよう、有権者も高い意識をもって臨みましょう。

ご意見をお寄せください。
白鷹町明るい選挙推進協議会
事務局(☎85-6120)



明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」

消防署白鷹分署からのお知らせ

6月5日は白鷹町春季消防演習

訓練は有事の際の迅速かつ
 確実な消防活動により、町民
 の皆さんの生命、身体、財産
 を保護するため、消防団員の
 志気と消防精神の高揚、消防
 技術の向上を目的として、規
 律訓練、火災防ぎよ訓練など
 を行うものです。

▼いつ 6月5日(日)午前中
 ▼どこで (時間)
 ・第1会場 東中グラウンド
 (午前8時30分)
 観閲、点検、部隊訓練、東

中学校吹奏楽部の演奏など
 ・第2会場 荒砥駅前周辺
 (午前10時30分)
 第3分団員「町火消し」に
 よるはしご乗り披露、火災
 防ぎよ訓練
 ・第3会場 荒砥仲町通り
 (午前11時20分)
 分列行進、あらと保育園幼
 年消防クラブの行進
 ・第4会場 役場前広場
 (午前11時40分)
 講評、表彰式

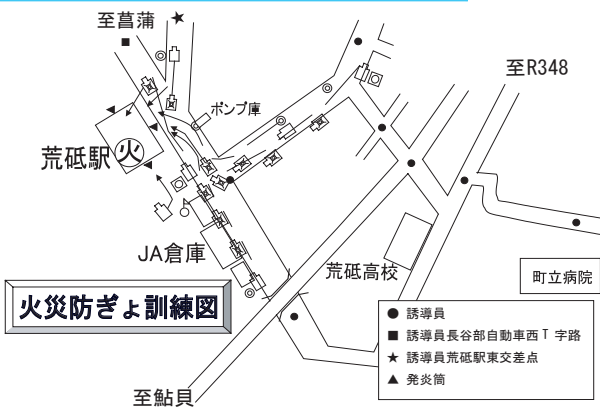
▼通行制限
 午前10時20分～11時20分
 荒砥駅前八幡地内
 午前11時10分～40分
 荒砥仲町通り
 ▼第2会場では、火災防ぎよ
 訓練に伴う放水を行いますの
 で、会場周辺のかたは、洗濯
 物などにご注意ください。
 ■問い合わせ 消防署白鷹分
 署 (☎85-5242)

火災が多発しています!!

今年に入って、西置賜管内では14件の
 火災が発生し、2名の方が亡くなり3名
 の方がケガをされています。

白鷹町内では住宅1件、その他2件の計
 3件の火災が発生しています(5月6日現
 在)。

これから山菜取りシーズンを迎え山火事
 の発生が予想されますので、焚き火やタバ
 コの不始末に十分注意してください。



「町報川柳」 草 樋口 一杯 選

佳作 踏まれても路傍の草は立ち上がる 鮎貝 土屋 文香

薬草を煎じ春待つ老いふたり 浅立 高橋 とみ

草餅は母の手作り香り立つ 世田谷 遠藤 八重

雪溶ける草も田畑も活気づく 畔藤 川井 千代

過疎すすむペンペン草の屋敷跡 荒砥乙 熊坂 鷹史

帰化草と呼ばれ根づいて憎まれる 高岡 長岡みち子

逞しく舗装持ち上げ草萌える 山口 渡部喜美子

村はずれ野仏一つ草の中 細野 安達 昭吾

藁草履履いた餓鬼大将が居た 横須賀 大滝健次郎

草萌える期待膨らむランドセル 荒砥甲 横山 陽子

雑草のように生きよと子に訓え 横須賀 菊地 美芳

墓参り無沙汰を詫びて草を取る 浅立 梅津たつ糸

草原の中のあなたの紅い花 高玉 高橋 朝子

草むしりこれが仕事と笑う母 埼玉県 川部 隆雄

生命の息吹が光る草萌える 荒砥甲五十公野かをる

夜更けても草木眠れぬ大都会 鮎貝 高橋 正

雑草と呼ばれても名は御座います 荒砥甲 丸山 正志

踏まれても踏まれても尚草の意地 鮎貝 五十公野忍

草耖りながらのちの話など 横須賀 勝見満里子

イチローと松井ばかりの草野球 十王 守谷 三郎

山野草も鉢に上れば内裏様 十王 志鎌はる糸

草まぐら雲父になり母になり 荒砥乙 土谷 灯一

美しい草原 地雷埋めないで 折居 海老名きち

道草の子のランドセル投げてある 小田原 井上 秀雄

忘れな草好きな少女になりました 杉並区 太田 絹子

雑草と闘う春の武者振るい 畔藤 堀内 芳夫

道草を喰った人ほどある丸味 滝野 海老名達夫

草の根のここから平和揚げよう 荒砥甲 井澤芙佐子

花も実もつけて野草の自己主張 畔藤 梅津 いと

雑草で生きる恐れるものはない 荒砥甲 高橋 白兔

軸 道草もいいな人生路が愉快 一杯

次回課題 「昔」 五月末日まで 「輪」 六月末日まで

一題三句はがきにて 届先 白鷹町荒砥乙四九四 菊地 克二まで

戸籍の窓

●4月1日▶4月30日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(渡辺 彰)	横田尻
(田代 優美)	山形市
(海老名 洋)	滝野
(大内 雅恵)	長井市
(鈴木 幸)	野
(石黒 里美)	広 鮎

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
十王	佐藤 豊 (トヨシ)	かず輝
畔藤	田中 幸佳	はや斗
深山	樋口 秀良	は伯
鮎貝	安部 正美	翔
十王	高田 博	翔
横田尻	土屋 豊	な菜
横田尻	沖田 昭幸	優
荒砥	椎名 寛	結

おくやみ

住所	氏名	年齢
菖蒲	今野 績	78
鮎貝	高橋 すみ	83
荒砥甲	鈴木 榮	73
高玉	金田 勝身	98
畔藤	菅原 喜藏	80
中山	戸借 みつよ	88
広野	川井 のふ	103
荒砥甲	伊藤 光藏	83
荒砥甲	長谷部 みどり	81
横田尻	小林 年雄	85
鮎貝	迎田 幸三郎	88
荒砥乙	新野 幸男	71
菖蒲	船山 うめ	86
箕和田	土屋 平三郎	74

5月上旬、白鷹スキー場周辺を散策した。今日は快晴。その春の光の中で、眼の先に大朝日岳が白くそびえる。見事な姿である。スキー場の上部の山は、今ちようど薄緑に木々が芽生えており、また山桜がようやくつぼみを開くべく、ここから見るそばんやり薄く赤みがかった色合いに見える。また、かなり濃い黄色を帯びた木々も点在する。上空を仰ぐとパラグライダーを楽しくんでいる人たちが空を舞っている。かなりの飛び数である。空から見た春の大地はどのように写っているのだろうか。白鷹山登山道に沿って群生するミズバショウ群を見る。今が全体の8割くらいの咲きである。山の空気と水を存分に吸い込んだらうと感ぜられる青い葉の間からの鮮やかな白の花。山の木々の間のくぼ地をかなりの距離にわたって続く。このような広い群生は、ほかでなかなか観られない

いと人は言う。白鷹町の知る人ぞ知る名所である。帰り際、スキーセンターで食事を取った。メニューはもちろんだ元産である。かいもち、こしあぶらの芽の天ぷら、青菜煮、大根の紅花漬、わさびを混ぜた冷汁。すべて季節感のある手づくりである。

しらたか春夏秋冬

町長随想 ④7 「四季彩郷しらたか」

この場所で、この内容で食事できることが楽しい。今から約40年前にさかのぼるが、学生のころ地理学の講義を受けている中で、鮮明に記憶に残っている話である。それは、「北緯38度に位置する地域は四季の変化が一番明確であり、美しく鮮やかである。北緯38度線を

は東北・山形県を通っている。」と話されたことである。当時、早速地図を調べると、なんとふるさと置賜地域を横断している。その地域が地球儀的に見た場合、ほかのどこにも引けを取らない、日本では代表的な四季の変化が明確に表れている、美しく鮮やかな土地なのかと、わがふるさとを誇りに思った。その後今までのことを大きな恵みと考え、今でもひそかに思うわが町の自然の美しさへの自信のもととなっている。白鷹の景観は、わたしは真実を気にする必要はない。本当に

大事なことは、春夏秋冬にもっと高い価値観と自信を持つことだ。本町は、平成14年度に「全国農村アメリティ・コンクール」最優秀賞に、平成16年度に「食アメリティ・コンテスト」最高賞に、関係者の努力によって輝いた。

さらなる未来に向けて、わたしなりに白鷹町の姿を「四季彩郷しらたか」とイメージした。そして協働のまちづくりの精神のもとに、さらなる「新・文化郷白鷹の創造」を進めたい。(※文化人びとの創り出す価値)

▼5月、新緑の季節となりました。木々の芽が次々に吹き出し、若々しさを表し、里の空気を一層新鮮に感じさせてくれます。最も好きな季節です。これはすばらしい自然があつてこそ実感できることではないでしょうか。

▼5月30日は「ごみゼロの日」です。わたしたちの便利な生活と比例してごみは増えています。その実態を理解するだけでも有意義な日であると思います。

▼普段の生活の中で、できるだけムダをなくし、ごみとなる物を少なくしていくことを、わたしたち自身が「自然」にできれば、地域の豊かな「自然」が守られていくことにつながっていくと思えます。(うめこ)



広報しらたかは再生紙を使用しています。